



歴史のなかの中国社会

疎外と連帯

中国は国民国家を建設する過程において、何を包摂し、何を排除してきたのだろうか。国民統合に向けた政治的動員を通じ、国家権力と、中国社会に根付く人々の連帯、日常の営み、それを支える価値観との間には、どのような緊張関係が形成されてきたのか。また、両者はどのように影響を及ぼしあい、相互に浸透してきたのだろうか。本講座では、歴史学、文化人類学、政治学、社会学、経済学の第一線で活躍する中国研究者とともに、国家権力と土着社会の織りなすダイナミックな中国の姿を描き出していく。

開催方法：対面・WEB開催

慶應義塾大学三田キャンパス
北館ホール / 東館 G-Lab / Zoom

開催日：2023年4月7日～7月21日
毎週金曜日 17:00～18:30
全13回(5/5, 6/2, 7/7を除く)

4/7 :<北館ホール>	小嶋華津子 慶應義塾大学	中国共産党の統治 ：「主人公」たる労働者の包摂と排除
4/14 :<北館ホール>	加茂 具樹 慶應義塾大学	「人民代表」の創出 ：中華人民共和国の建国物語
4/21 :<東館G-Lab>	梶谷 懐 神戸大学	中国経済は、国家主導か民間主導か？
4/28 :<北館ホール>	奈良 雅史 国立民族学博物館	現代中国における「イスラーム復興」
5/12 :<東館G-Lab>	山本 真 筑波大学	20世紀前半、中国華南地域における 秘密結社と武装勢力
5/19 :<東館G-Lab>	中村 元哉 東京大学	近代リベラリズムからみる疎外と連帯
5/26 :<東館G-Lab>	金野 純 学習院女子大学	改革開放後の逸脱と管理 ：ヤクザとポルノの取締運動
6/9 :<東館G-Lab>	河合 洋尚 東京都立大学	宗族とは何か：客家地域のフィールドから 考え直す
6/16 :<東館G-Lab>	志賀 市子 茨城キリスト教大学	神、鬼、祖先をめぐる民間信仰
6/23 :<東館G-Lab>	大橋 史恵 お茶の水女子大学	現代中国における女性運動の問い ：親密性の労働を中心に
6/30 :<北館ホール>	谷川 真一 神戸大学	文化大革命の派閥抗争とは何だったのか
7/14 :<北館ホール>	長沼さやか 静岡大学	エスニック・アイデンティティの多元性 ：広東省珠江デルタの人々を例に
7/21 :<東館G-Lab>	鄭 浩瀾 慶應義塾大学	社会の連帯関係と中国革命

参加申込方法

各講座開催日3日前23:59までに、お申し込みください。
(締切厳守) 申込みフォーム→
<https://forms.gle/SEvx1kHroPsf389R8>



お問い合わせ先

慶應義塾大学東アジア研究所
URL <http://www.kieas.keio.ac.jp>
E-mail kieas@info.keio.ac.jp

